

# 政治ってなんだろう？

「政治」と聞いた時に何を思い浮かべますか。

政治家、議会、選挙、最近見たニュースなど

いろんなことが思い浮かぶと思います。

政治なんて自分とは遠いものだと思う人もいます。

でも、「駅前の駐輪場」や「学校の設備」など

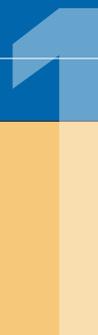
あなたの住んでいる街に政治は深く関わっています。

この冊子では政治を、「よりよい」社会を作るための動き

と定めます。そしてあなたが「主役として」政治に

関わることの学びを深めていきます。





# なにが“よい”かは、 一人ひとり違うもの

いろいろな人がいる中で、何が“よい”ことなのかを  
決めるのは、実は簡単ではありません。

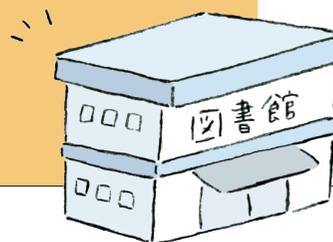
例えば、図書館の運営について想像してみましょう。

小さなお子さんがいる、とある親は絵本が多くあって  
ほしいと思います。とある社会人は、ベストセラー作家の  
本を読みたいと思っています。街の歴史を知りたい人は、  
地域に関する古い文献を探しています。また、高校生は  
本を借りることよりも自習場所を図書館に求めます。

このように、いろいろな望みがある中で、  
ひとつの“よい”結論を決めることはすごく難しいことです。

「よりよい社会を作る」ことが政治の目的です。

そのために大事なことは、それぞれの違いを理解しつつ  
結論を出すための話し合いです。



## どんな図書館が“よい”のかな？

4人ぐらいのグループになって、考えてみてください。  
ある街で、図書館の一部を新しくすることになりました。  
街の様々な人が、自分の望みを話しています。

- 街に長く住んでいる人は、街の歴史に関する資料を増やしてほしいと言っています。
- 高校生は、放課後や夏休みなどに自習ができる場所を広げてほしいと言っています。
- 3歳の子どもを持つ親は、紙芝居をもっと充実させてほしいと言っています。
- 会社員の人は、仕事に活かせるビジネス書を増やしてほしいと言っています。

さて、どのように図書館を新しくすることがよい結論と言えるでしょうか。グループの皆さんで話し合ってみてください。

### 話し合ったことを書いてみよう



グループではどんな結論にいたりましたか？  
 様々なよい結論があったと思います。  
 その結論を出すために、いろんな立場の人のことを考  
 えて話し合ったのではないのでしょうか。もしかしたら  
 予算や広さのことなんかも考えた人もいでしょう。  
 政治においても同じように、社会にいるいろんな人や条件  
 について考えて結論を出すことを大事にしています。

話し合ったことを書いてみよう

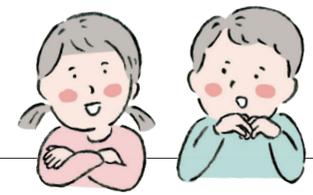


## “よい”話し合いの ための小技

「よりよい社会を作る」ことが目的の政治において、  
 話し合いは重要です。様々な意見をもとに討論や  
 話し合いを行い最もよいと思われる結論を  
 導き出します。ただし多くの場合、みんなが納得する  
 ひとつの結論にたどり着くことは難しく、最終的には  
 多数決などによって結論を決めることもあります。  
 しかし数の大小だけではなく、  
 少数派の意見や発言されなかった意見にも、  
 配慮をしながら決定をする必要があります。

“よい”結論を導き出すための、“よい”話し合い  
 にはいくつか大事なコツがあります。  
 ここでは3つの技をご紹介します。





## 話し合いの小技



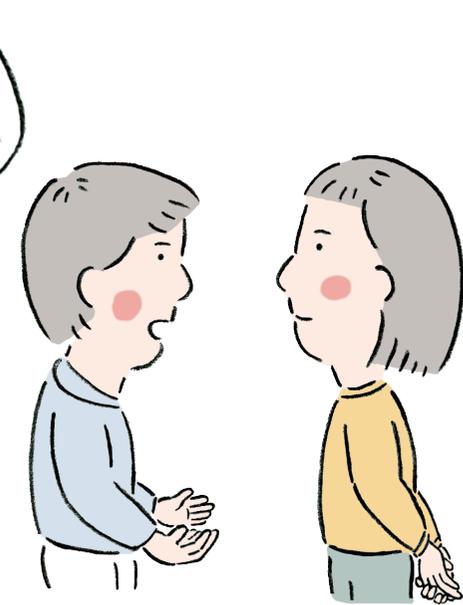
### 自分の意見を述べる時は、理由も一緒に述べる

意見をただ述べるだけでは、なぜその意見を持っているのか伝わりません。理由を話すことで相手に自分の考え方を伝えることができ、話し合いをより深めることができます。



### 人の話を聞く時は、聞いていることを伝える

意見を述べた時に、友達が無関心な態度だと悲しいですね。間違っているかも、と不安になりませんか？ 友達も同じです。相づちを打ったり、うなずいたりして、相手に話を聞いていることを伝えましょう。



### 違う考えの意見こそ、深く聞く

話し合いの中では、自分とは違ういくつかの意見が出てくると思います。それは、新しい発見をするチャンスかもしれません。「それは違うよ！」なんてことは言わずに、なぜそう思ったのかを聞きながら、さらに深く話し合ってみましょう。

# “よりよい”政治には よい話し合いが大切

政治は、誰もが暮らしやすい社会を  
作るためにあります\*。

しかし、社会に暮らす人全員が話し合いに  
参加できるわけではありません。

文京区には20万人以上の人々が住んでいます。

選挙で選ばれた議員や区長、そして区の職員が

区民の思いをもとに話し合いを行い、よい結論を出し、  
様々なことを実施しています。

「考えてみよう1」で皆さんが行ったようなことです。

ここでは、実際に文京区の政治の例から考えてみます。

\*教科書5P参照



## 公園の再整備を考えてみよう!

区内の公園をより安全で誰もが使いやすい公園にするために、文京区では公園の再整備を進めています。再整備にあたっては、区の計画や方針に加えて、区民向けに意見交換会やアンケートを行い、積極的に区民の声を取り入れることにしています。

あなたの近所にある公園も、区民の声を聞いて、よりよい公園になっていくはず。アンケートの結果や意見を参考にしながら、よりよい文京区にするために公園がどのようになるとよいか考えてみましょう。

### 再整備の目的

- 現在ではあまり使われなくなったり、古くなったりした遊具や施設を新しくする。
- 大きな災害時に、防災の拠点や避難場所として活用できるようにする。
- トイレやスロープ、水飲み場などを高齢者や障害者の人でも使いやすい施設にする。
- 野鳥や昆虫など、多様な生物が住みよい環境を作る。

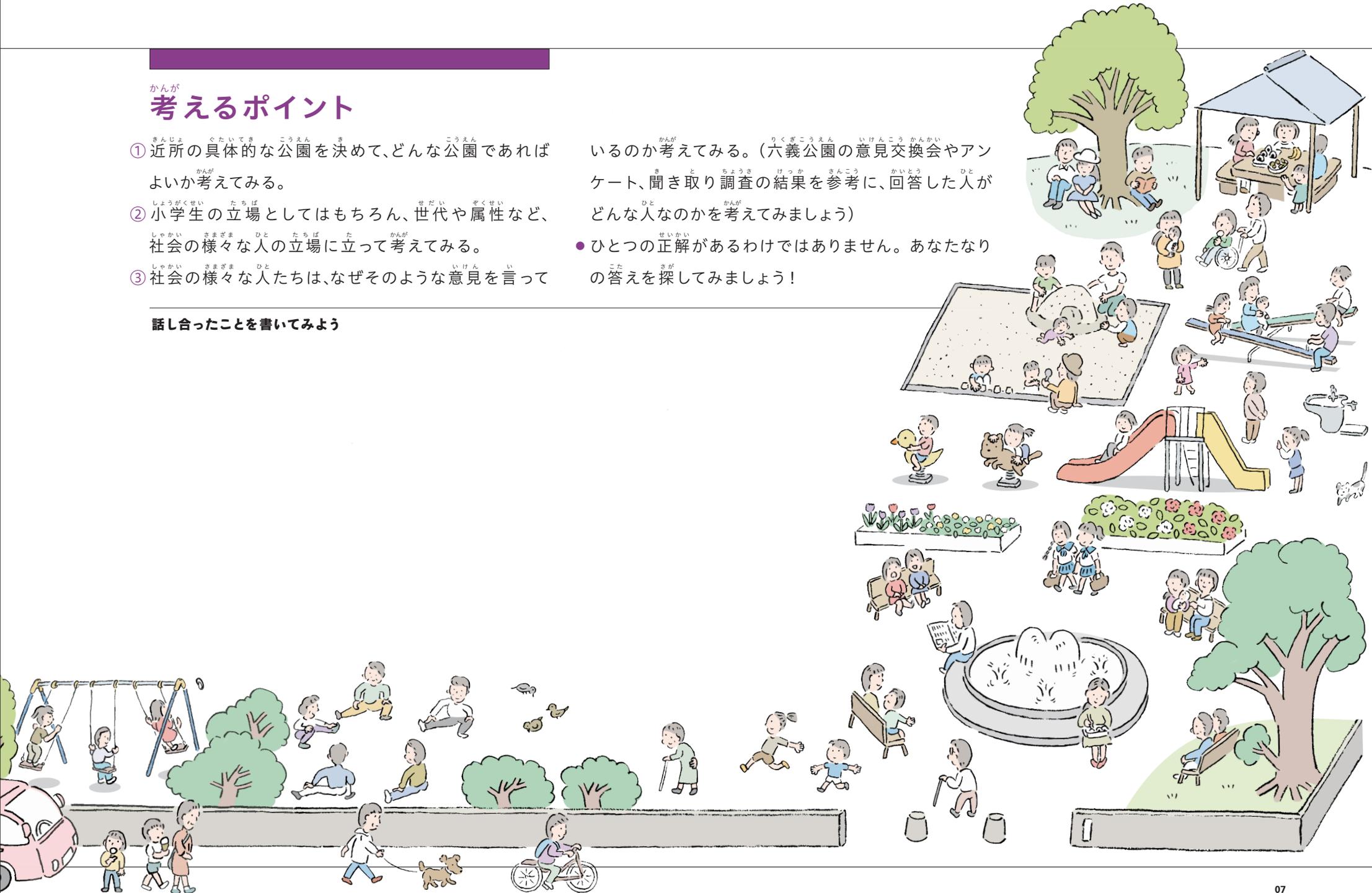
## かんが 考えるポイント

- ① 近所の具体的な公園を決めて、どんな公園であればよいか考えてみる。
- ② 小学生の立場としてはもちろん、世代や属性など、社会の様々な人の立場に立って考えてみる。
- ③ 社会の様々な人たちは、なぜそのような意見を言っ

ているのか考えてみる。(六義公園の意見交換会やアンケート、聞き取り調査の結果を参考に、回答した人がどんな人なのかを考えてみましょう)

- ひとつの正解があるわけではありません。あなたなりの答えを探してみましょう!

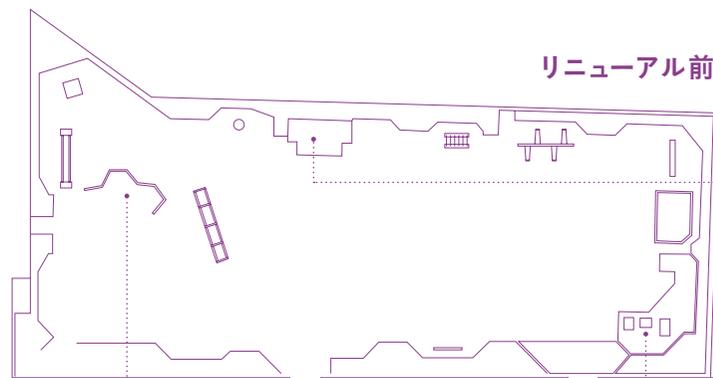
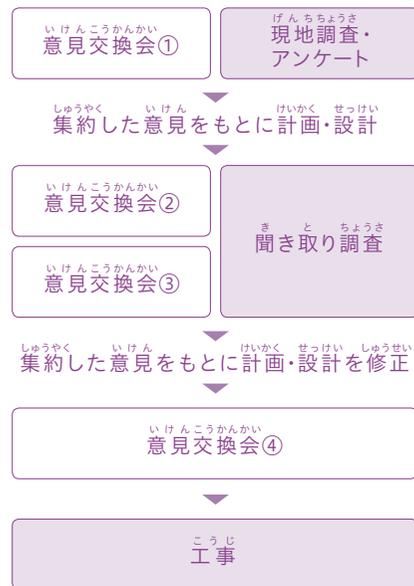
話し合ったことを書いてみよう



ぶんきょうく  
**文京区**  
りくぎこうえん  
**六義公園の**  
さいせいび  
**再整備**

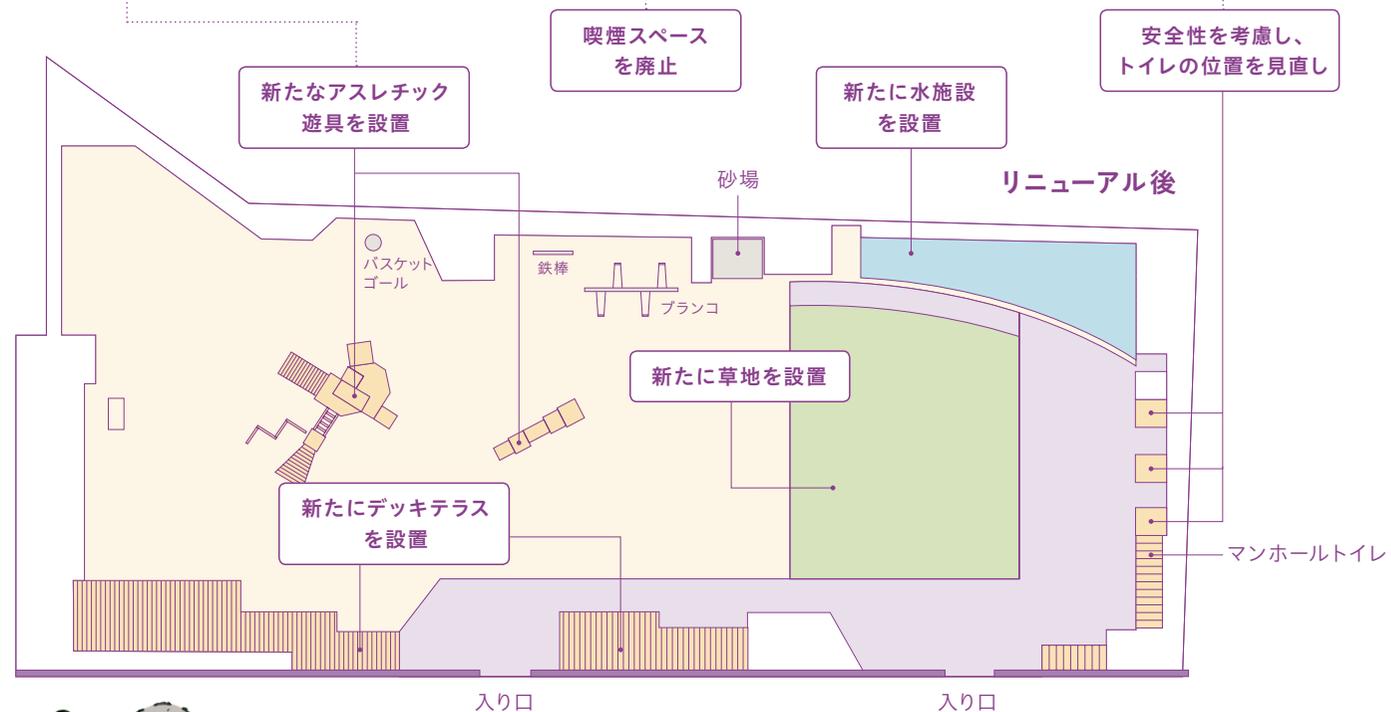
れいわげんねんまつ りくぎこうえん  
令和元年夏ごろ、六義公園はリニ  
ーアルしました。実際のプロセスを  
たどりながら住民の声がどのように  
反映されたのか見ていきましょう。

●リニューアルまでのプロセス



六義公園の特徴

- 六義園（都立の日本庭園）に隣接している。そのため、まとまった緑がある。
- 少年野球やサッカー、ソフトボールができる六義公園運動場が隣接している。
- 近隣にある公園と比べると、面積の広い公園である。
- 災害時の一時避難場所に指定されている。



# たくさんの人の“よい”を知るための取り組み

## 意見交換会

近隣の区民などを対象とした意見交換会を4回開催しました。第1回では「六義公園をこんな公園にしたい!」といった全体のテーマの話し合いが行われ、第2回・第3回では実際の整備計画の図案を見ながら、子どもや中高生、高齢者など様々な視点で話し合いを行いました。参加した区民同士でグループを作り、意見を出し合ったり、まとめたりすることで、より具体的な話し合いが行われました。

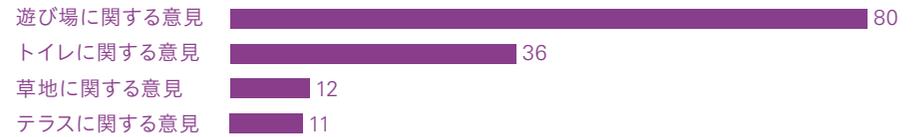
### 六義公園の意見交換会で出された意見の例

- 水遊びができる場所がほしい
- 自転車や一輪車の練習ができるようにしたい
- 泥遊びや原っぱ遊びをさせたい
- 高齢者がくつろげる場所を設けてほしい
- 多世代が囲碁などで交流できる縁台のような場所がほしい
- 防災設備(かまどベンチなど)を日常でも子どもたちと一緒に使う機会を設けたい
- 喫煙所をなくした方がよい
- トイレは見通しの改善等で安全性を高めてほしい
- 大きな樹木はできるだけ残してほしい
- 夕方にバスケットで遊ぶ子供たちが居るので、バスケットエリアに外灯をつけてほしい
- テラスエリアが階段状になっており、お弁当を広げたりして、多世代で利用できそうなので楽しそう
- 草地広場は、広々としていて幼児を遊ばせたりできるのでとてもよい



## 聞き取り調査

実際に六義公園を利用している人の意見を聞くため、計画の図を使い、六義公園での聞き取り調査を行いました。



[遊び場に関して] 現在と同様のアスレチック遊具がほしい/大きい、ダイナミック、高さが高い等、子ども達の体力を試せるようなハードルの高い遊具が良い/水遊びしたい/プレーパークの開催頻度を増やして欲しい、等 [トイレに関して] トイレの位置は整備案に多数が賛成 [草地に関して] 草地広場は現在公園にないので好印象 [テラスに関して] 多数がテラスの設置に期待

## アンケート

六義公園の周辺に住む区民や近隣の学校などに以下のようなアンケート調査を行いました。

	あったら良い、増やしたい、充実させたいと思うものは?	ふさわしいと思う 7~12歳向けの遊具は?	ふさわしいと思う 3~6歳向けの遊具は?
1位	水施設 37%	アスレチック遊具 62%	砂場 35%
2位	ボール遊び 28%	複合遊具 39%	複合遊具 31%
3位	遊具 23%	ブランコ 18%	ブランコ 26%

# 4

## 身近にある政治

「地域の問題を解決し、よりよい暮らしにつながる

政治を住民とともに進めていくことは、

市区町村や都道府県の大切な役割です。\*」

あなたも18歳になったら選挙に行くことができますが、

それだけが政治との関わり方ではありません。

小学生のあなたもぜひ区の政治と一緒に進めていきましょう。

例えば、自分の住む街のこんなところが変わってほしいな、

というように、まずは自分なりの関心や問題点を

確認してみることがはじまりになります。

関心を持ったあとはそのことを「知る」「考える」「話す」を

繰り返すことで、自分の意見を深めてみましょう。

\*教科書9Pより



## 知る

### 新聞やニュースを見てみる

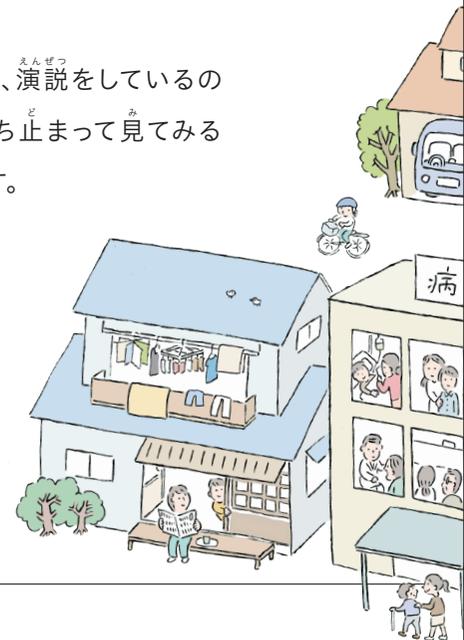
新聞やニュースは、関心ごとを探したり、意見を深めるのに役立ちます。その中であなたが気になったことを、自分でさらに調べてみましょう。区や街のことについては、区のホームページや区報も参考にしてみてください。

### 政党や政治家のホームページやSNSを見てみる

政党や政治家がどのようなことを重点的に考え、活動しているのか、気軽に情報を得ることができます。特にSNSでは、その人の人柄や日常生活も何うことができると思います。

### 政治家を直接見てみる

街の中で政治家が挨拶をしていたり、演説をしているのを見かけたら、1分でもよいので立ち止まって見ると、その人の印象が分かると思います。



## かんが 考える

### それぞれの立場で物事を考えてみる

自分たちの住む街には様々な人がいます。それぞれの世代や立場で物事を考えてみることも、政治を考える上では重要な要素です。

## はな 話す

### 家族や友達と話してみる

家族や友達と身近な街の話やニュースに対して話してみることも、政治に参加する方法のひとつです。

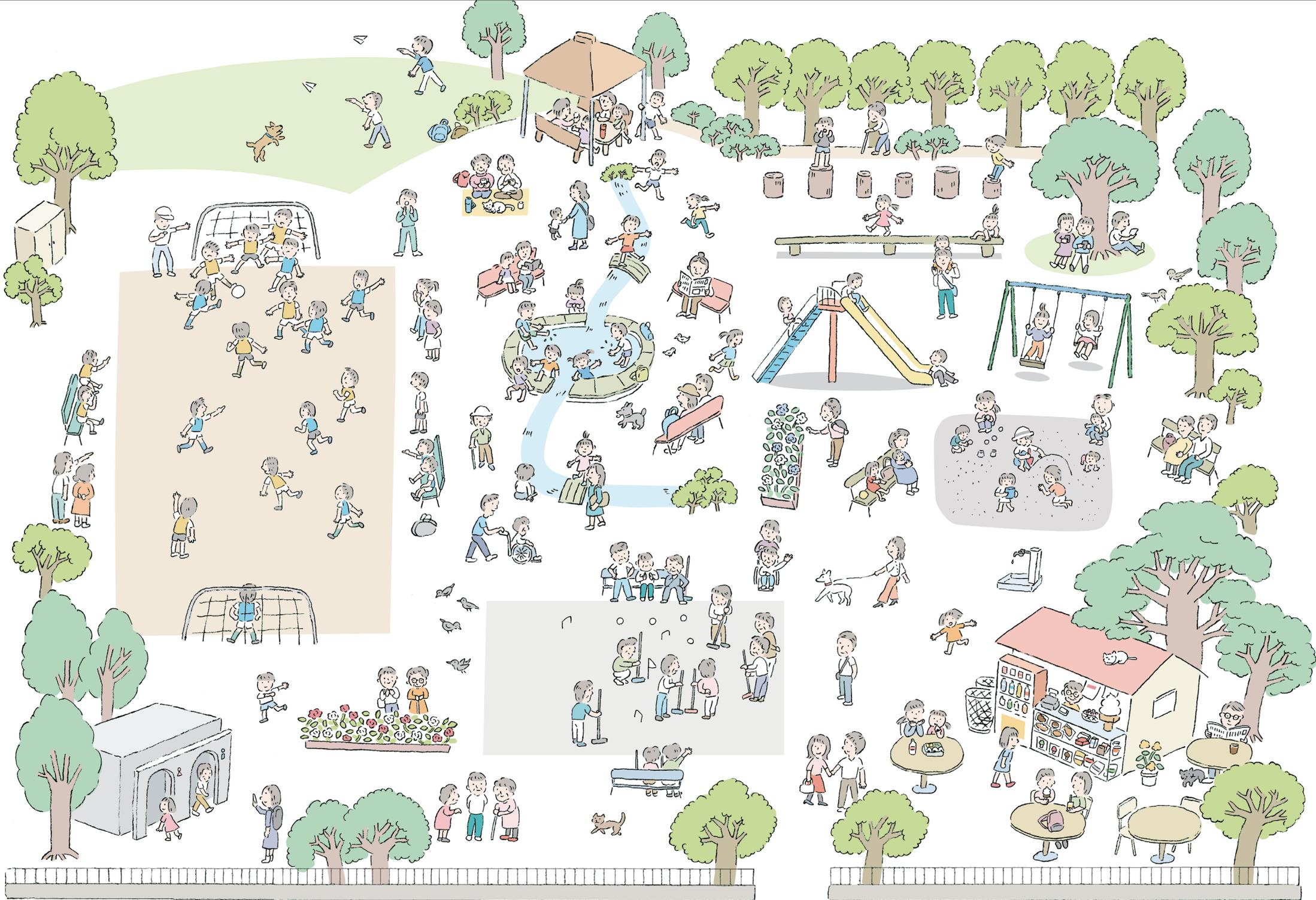


### あなたの意見を伝え、働きかける方法として

区のホームページでは「区民の声」コーナーを設置しています。ホームページから意見や質問、要望などを投稿することができます。寄せられた声は区長に報告され、担当の部署がその声を検討します。

区民の声 ▶ [www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/koho/koe](http://www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/koho/koe)





# 文京区副教材について

主権者教育の小学生用教材について

# 目次

▶ 本副教材の趣旨

▶ 冊子内容

# 本副教材の趣旨

# 政治は身近なもの

主権者教育と一言に言っても、さまざまなアプローチがあります。選挙権が18歳から与えられるようになってからは、高校生を中心に模擬選挙のような具体的な政治参加の手法を伝える場も多く提供されています。

今回、私たちNPO法人YouthCreateは、文京区の小学生に、政治を身近で、自分にも関係のあるものとして考えるきっかけを提供したいと考え、本副教材を制作しました。

本副教材を先生方にご活用いただくことで、政治は自分の住む「街」をよりよくするであること、その際には多数決ではなく、自分を含めた様々な人への思いやりや配慮が必要であること、選挙だけが政治参加ではなく、すべての国民が意見を持ち、発信することができることを児童らに感じてもらえたらと考えています。

# 冊子内容

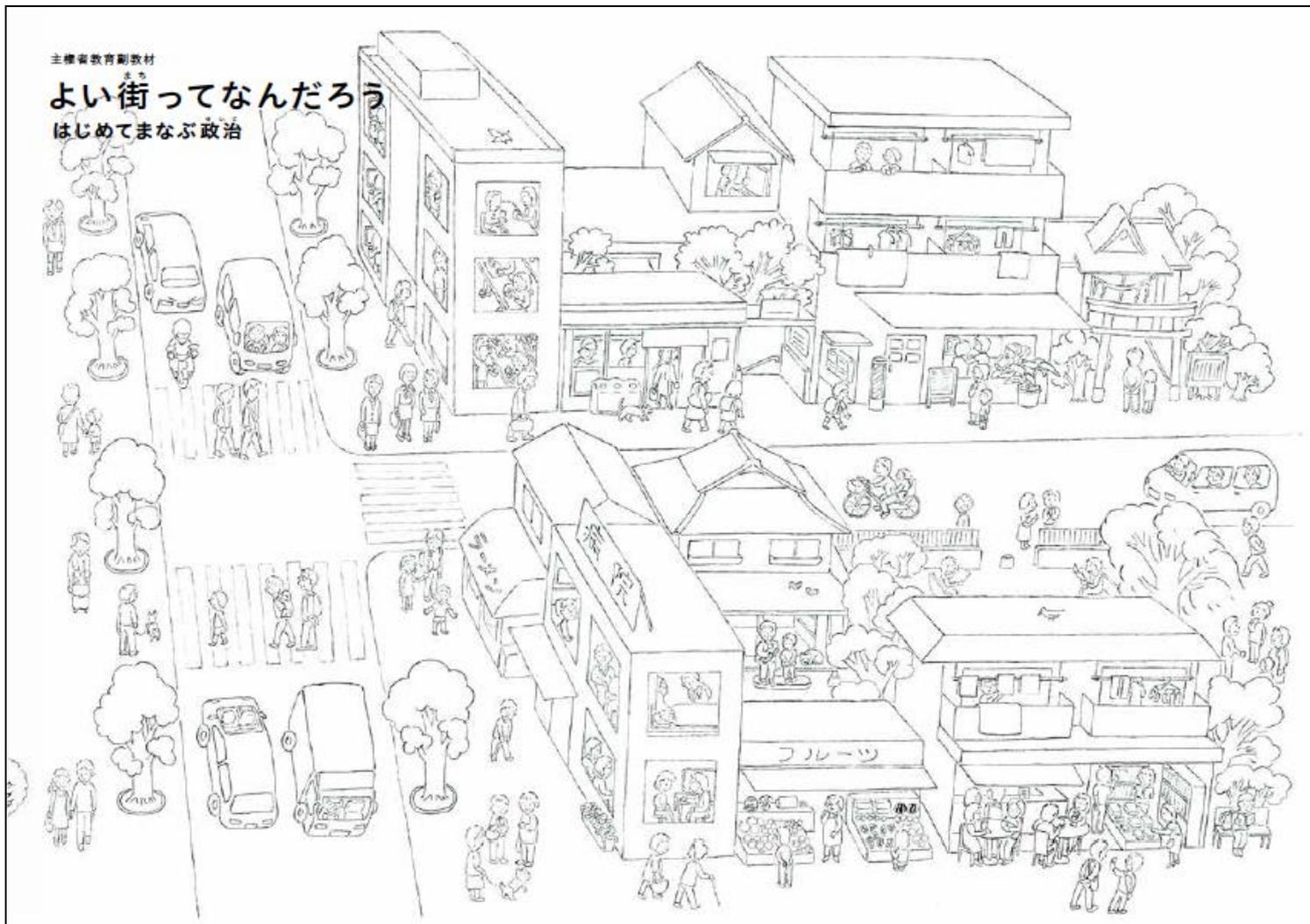
- ▶ 大きく4つのステップと、グループワークをもとにした副教材となっています。
- ▶ 各ページの制作意図を記載しています。
- ▶ 先生方に留意いただきたいポイントも記載しています。

デザインは制作中のもので、着色や見えがかりなどは途中段階ものです。

主権者教育副教材

# よい街ってなんだろう

はじめてまなぶ政治



## 表紙

子どもや高齢者、車や自転車、商売人や病人など、さまざまな人がいる「街」の様子を描くことで、自分以外の人がいること、その人たちの困りごとに気づいてもらえたらと考えています。

## 政治ってなんだろう？

「政治」と聞いたときに何を思い浮かべますか。

政治家、議会、選挙、最近みたニュースなど

いろんなことが思い浮かぶと思います。

政治なんて自分とは遠いと思う人もいでしょう。

でも、「駅前の駐輪場」「学校の設備」など

あなたの住んでいる街のことに政治は関わっています。

この冊子では政治を、「よい社会を作るための動き」

と定めます。そしてあなたが「主役として」政治に

関わることの学びを深めていきます。



## 2p

まず、政治という言葉と、自分の身近な街が関連づいていることに気づけることを目的としています。絵の中にどのような人がいるのかを題材にさせていただいても良いと考えています。



## なにが“よい”かは、 一人ひとり違うもの

色々な人がいる中で、何が“よい”ことなのかを  
決めることは、実は簡単ではありません。

例えば、図書館の運営について想像してみます。

小さなお子さんがある、とある親は絵本が多くあって  
ほしいと思います。とある社会人は、ベストセラー作家の  
本を読みたいと思っています。街の歴史を知りたい人は、  
地域に関する古い文献を探しています。また、高校生は  
本を借りることよりも自習場所を図書館に求めます。

このように色々な望みがある中で、  
ひとつの“よい”結論を決めることはすごく難しいことです。  
「よりよい社会を作る」事が政治の目的です。  
そのために大事なことは、それぞれの違いを理解しつつ  
結論を出すための話し合いです。



### 考えてみよう1



#### どんな図書館が“よい”のかな？

4人ぐらいのグループになって、考えてみてください。  
ある街で、図書館の一部を新しくすることになりました。  
街の様々な人が、自分の想いを話しています。

- 街に長く住んでいる方は、街の歴史に関する資料を増やしてほしいと言っています。
- 高校生は、放課後や夏休みなどに自習ができる場所を広げてほしいと言っています。
- 3歳の子供を持つ親は、紙芝居をもっと充実させてほしいと言っています。
- 会社員の方は、仕事に活かせるビジネス書を増やしてほしいと言っています。

さて、どのように図書館を新しくすることがよい結論と  
言えるでしょうか。グループの皆さんで話し合ってみてください。

#### 話し合ったことを書いてみよう



政治のある具体的な場所を想像し、  
そこにいる人の事情を想像してもらいたいと  
考えています。

3p

これから「よい」ということを考えていくにあたって、  
自分にとっての「よい」と、他人にとっての「よい」が違うことを  
前提として理解してもらおうことを意図しています。

## 考えてみよう1

グループではどんな結論にいたりましたか？  
様々なよい結論があったと思います。  
その結論を出すために、いろんな立場の人のことを考え  
話し合ったのではないのでしょうか。もしかしたら予算  
や広さの事なんかも考えた人もいるでしょう。  
政治においてもこのように、社会にいるいろんな人や条件  
のことを考えて結論を出すことを大事にしています。

話し合ったことを書いてみよう



## 学び2

# “よい”話し合いの ための小技

「よい社会を作る」事が目的の政治において、  
話し合いは重要で、様々な意見をもとに討論や  
話し合いを行い最もよいと思われる結論を  
導き出します。ただし多くの場合では、みんなが納得する  
ひとつの結論にたどり着くことは難しく、最終的には  
多数決などによって結論を決めることもあります。

しかし数の大小だけでなく、  
少数派の意見や発言されなかった意見にも、  
配慮をしながら決定をする必要があります。

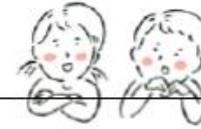
“よい”結論を導き出すための、“よい”話し合い  
にはいくつか大事なコツがあります。  
大きく3つの技をご紹介します。



4p グループワークでどんな意見が出たのかを深掘りしてほしいパートです。

- ・誰の意見が反映されたのか
- ・どの意見が反映されなかったのか
- ・最終的にどのように決めたのか

等を児童とともに振り返ってみてください



## 話し合いの小技巧



私は新居を  
ぶやしたいと思う。  
なぜなら、この辺りに  
はちいさい子の遊び  
場所が少ないから。

### 自分の意見を述べる時は、 理由も一緒に述べる

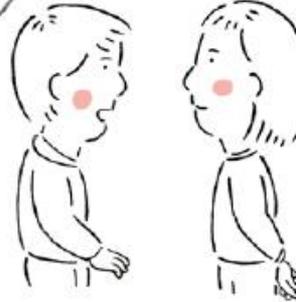
意見をただ述べるだけでは、なぜその意見を持っているのか伝わりません。理由を話すことで相手に自分の考え方を伝えることができ、話し合いをより深めることができます。



### 人の話を聞く時は、 聞いていることを伝える

意見を述べた時に、友達が無関心な態度だと感じますよね。動揺しているかも、と不安になりませんか？ 友達も同じです。箱づちを打ったり、うなずいたりして、相手に聞いていることを伝えましょう。

女子さんは  
どうしてそう  
思ったの？



### 違う考えの意見こそ、 深く聞く

話し合いの中では、自分とは違ういくつかの意見が出てくると思います。それは、新しい発見をするチャンスかもしれません。「それは、違うよ！」なんて事は言わずに、なぜそう思ったのか？ どうしてそう思ったのかを聞きながら更に深く話し合ってみましょう。

5p

話し合いを円滑に進めるためのマナーです。

自分の意見を持ちつつも、相手を論破することが目的とならないように、他人の発言から「発見」をしてほしいと考えています。

図書館のワークが活発でなかった場合には、この小技巧を意識してもう一度行ってもよいかもしれません。

## “よりよい”政治には よい話し合いが大切

政治は、だれもが暮らしやすい社会を  
作るためにあります。

しかし、社会に暮らす人全員が話し合いに  
参加できるわけではありません。

文京区には20万人以上の人に住んでいます。

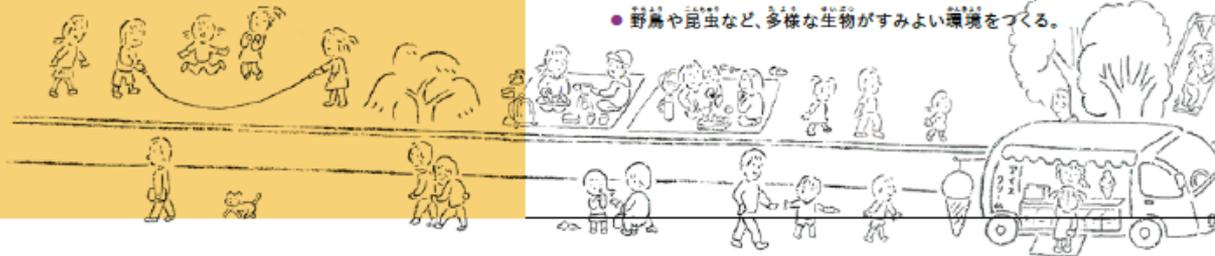
選挙で選ばれた議員や区長、そして区の職員が

区民の想いをもとに話し合いを行い、良い結論を出し、  
様々なことを実施しています。

「考えてみよう1」でみなさんが行ったようなことです。

ここでは、実際に文京区の政治の例から考えてみます。

\*教科書SP参照



## 公園の再整備を考えてみよう!

区内の公園をより安全で誰もが使いやすい公園にするため、文京区では公園の再整備を進めています。

再整備にあたっては、区の計画や方針に加えて、区民向けに意見交換会やアンケートを行い、積極的に区民の声を取り入れることにしています。

あなたの近所にある公園も、区民の声を聞いて、より良い公園になっていくはずですよ。アンケートの結果や意見を参考にしながら、よりよい文京区にするために公園がどのようになるとよいか考えてみましょう。

### 再整備の目的

- 現在ではあまり使われなくなったり、古くなったりした遊具や施設を新しくする。
- 大きな災害時に、防災の拠点や避難場所として活用できるようにする。
- トイレやスロープ、水飲み場などを高齢者や障害者の方でも使いやすい施設にする。
- 野鳥や昆虫など、多様な生物がすみよい環境をつくる。

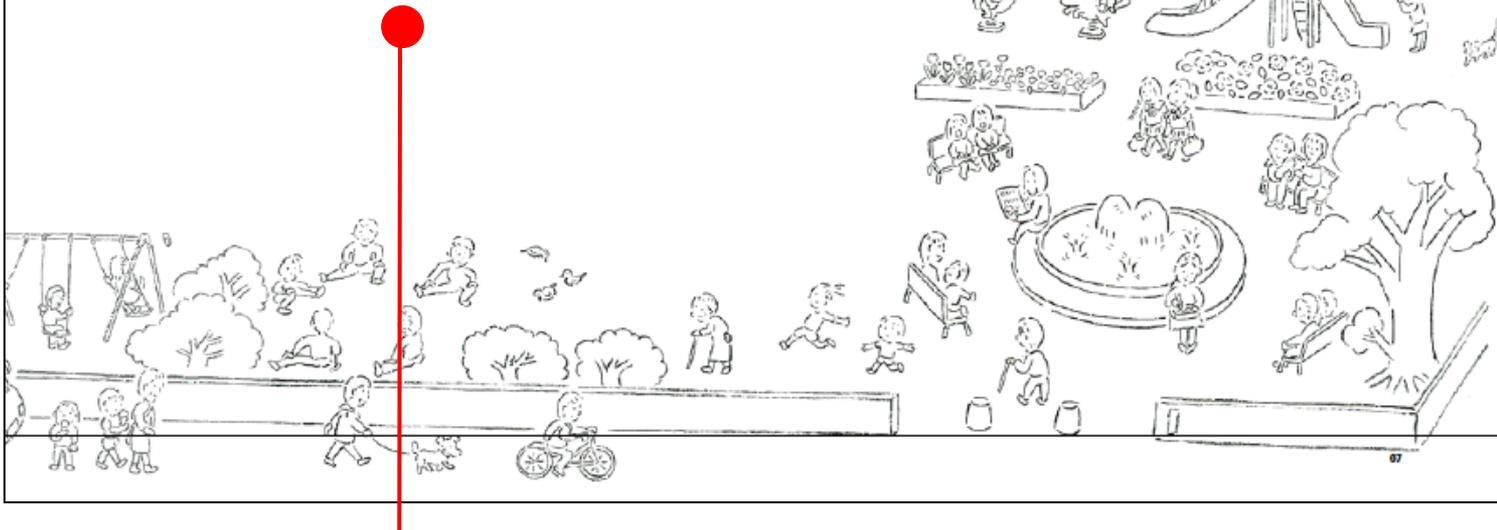
## かんがえるポイント

- ① 近所の具体的な公園を決めて、どんな公園であればよいか考えてみる。
- ② 小学生の立場としてはもちろん、世代や属性など、社会の様々な人の立場の視点も考えてみる。
- ③ 社会の様々な人たちは、なぜ、そのような意見を言っ

ているのか考えてみる。(六義公園の意見交換会やアンケート、聞き取り調査の結果を参考に、回答した人がどんな人なのかを考えてみましょう)

- 一つの正解があるわけではありません。あなたなりの答えを探してみましょう!

話し合ったことを書いてみよう



7p 近所の実際の公園をもとに

「自分が思うよい公園」と「他人が思うよい公園」に分けて考えてみてください。

公園の絵を描いてみて、問題点や良い点を考えてみてみましょう。

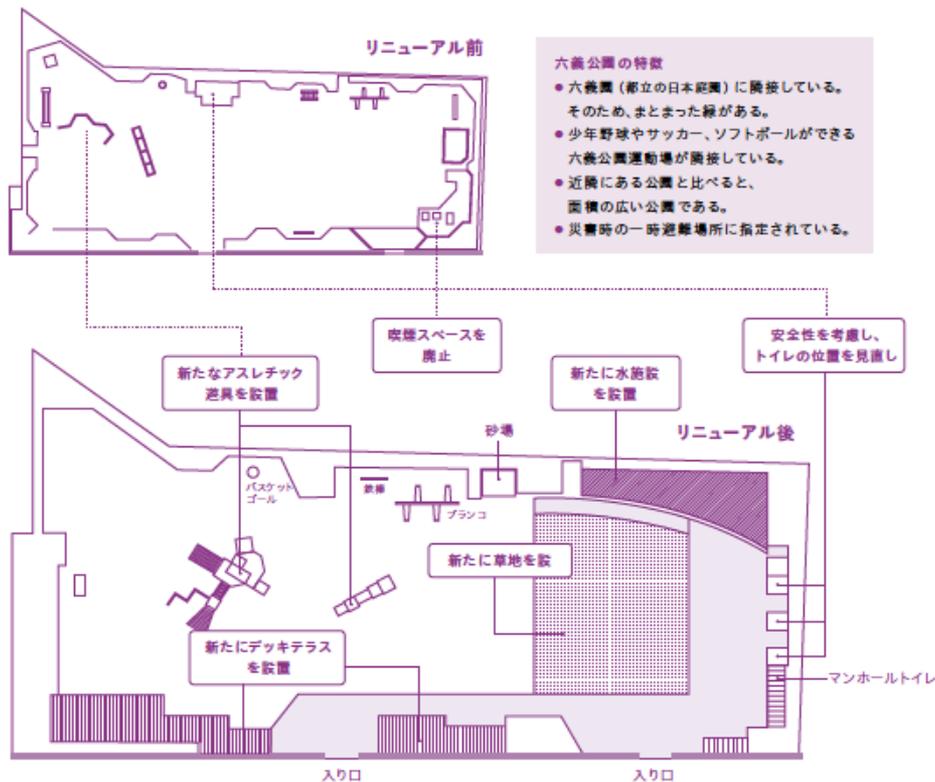
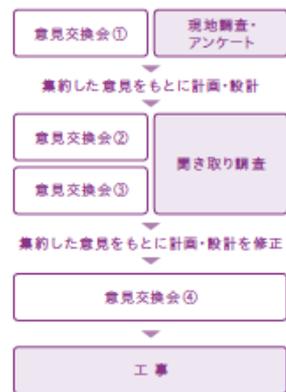
ワークを行う前に8～9pの六義公園の再整備についての読み解きを行ってください。

## 参考にしてみよう!

### 文京区 六義公園の 再整備

令和元年夏ごろ、六義公園はリニューアル予定です。実際のプロセスを辿りながら住民の声がどのように反映されたのを見ていきましょう。

#### ●リニューアルまでのプロセス



## たくさんのひとの“よい”を知るための取り組み

### 意見交換会

近隣の区民などを対象として意見交換会を4回開催しました。

第1回の話し合いでは「六義公園をこんな公園にしたい!」といった全体のテーマの話が行われ、第2回・第3回では実際の整備計画の図案を見ながら、子どもや中高生、高齢者など様々な視点で話し合いを行いました。参加した区民同士でグループをつくり、意見を出し合ったり、まとめたリすることで、より具体的な話し合いが行われました。

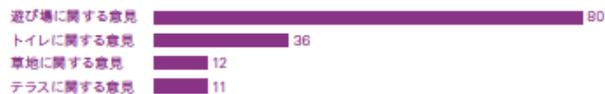
#### 六義公園の意見交換会で出された意見の例

- 水遊びができる場所がほしい
- 自転車や一輪車の練習ができるようにしたい
- 泥遊びや原っぱ遊びをさせたい
- 高齢者がくつろげる場所を設けてほしい
- 多世代が囲碁などで交流できる緑台のような場所がほしい
- 防災設備(かまどベンチなど)を日常でも子どもたちと一緒に使う機会を設けたい
- 喫煙所をなくした方がよい
- トイレは見通しの改善等で安全性を高めてほしい
- 大きな樹木はできるだけ残してほしい
- 夕方にバスケットで遊ぶ子供たちが居るので、バスケットエリアに外灯をつけてほしい
- テラスエリアが階段状になっており、お弁当を広げたりして、多世代で利用できそうなので楽しそう
- 草地広場は、広々としていて幼児を遊ばせたりできるのでとてもよい



### 聞き取り調査

実際に六義公園を利用している人の意見を聞くため、計画の図を使い、六義公園での聞き取り調査を行いました。



[遊び場に関して] 現在と同様のアスレチック遊具がほしい/大きい、ダイナミック、高さが高い等、子ども達の体力を試せるようなハードルの高い遊具が良い/水遊びしたい/プレーパークの開催頻度を増やして欲しい、等 [トイレに関して] トイレの位置は騒音家に多数が賛成 [草地に関して] 草地広場は現在公園にないので好印象 [テラスに関して] 多数がテラスの設置に期待

### アンケート

六義公園の周辺に住む区民や近隣の学校などに以下のようなアンケート調査を行いました。

	あったら良い、増やしたい、充実させたいと思うものは?	ふさわしいと思う7~12歳向けの遊具は?	ふさわしいと思う3~6歳向けの遊具は?
1.	水施設 37%	アスレチック遊具 62%	砂場 35%
2.	ボール遊び 28%	複合遊具 39%	複合遊具 31%
3.	遊具 23%	ブランコ 18%	ブランコ 26%

# 4

## 身近にある政治

「地域の問題を解決し、より良い暮らしにつながる政治を住民とともに進めていくことは、市区町村や都道府県の大切な役割です。」

あなたも18歳になったら選挙に行くことができますが、それだけが政治との関わり方ではありません。小学生のあなたもぜひ区の政治と一緒に進めていきましょう。例えば、自分の住む街のこんなところが変わってほしいな、というように、まずは自分なりの関心や問題点を確認してみることがはじまりになります。

関心を持ったあとはそのことを「知る」「考える」「話す」を繰り返すことで、自分の意見を深めてみましょう。

\*教科書9ページより



### 知る

#### 新聞やニュースを見してみる

新聞やニュースは、関心ごとを探したり、意見を深めるのに役立ちます。その中であなたが気になったことを、自分でさらに調べてみましょう。区や街のことについては、区のホームページや区報も参考にしてみてください。

#### 政党や政治家のホームページやSNSを見してみる

政党や政治家がどのようなことを重点的に考え、活動しているのか、気軽に情報を得ることができます。特にSNSでは、その人の人柄や日常生活も何うことができると思います。

#### 政治家を直接見してみる

街の中での政治家が挨拶をしていたり、演説をしているのを見かけたりしたら、1分でもよいので立ち止まって見してみると、その人の印象が分かります。



## かんが 考える

### それぞれの立場で物事を考えてみる

自分たちの住む街には様々な人がいます。それぞれの世代や立場で物事を考えてみることも政治を考える上では重要な要素です。

## はな 話す

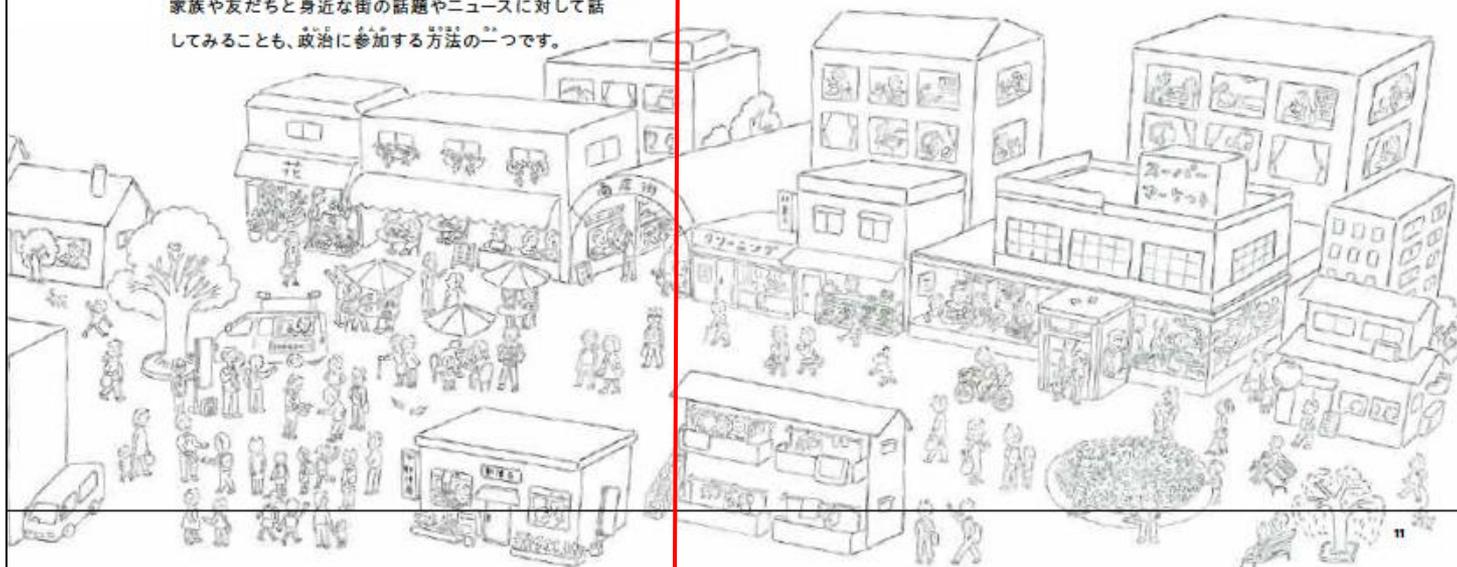
### 家族や友だちと話してみる

家族や友だちと身近な街の話題やニュースに対して話してみることも、政治に参加する方法の一つです。

### あなたの意見を伝え、働きかける方法として

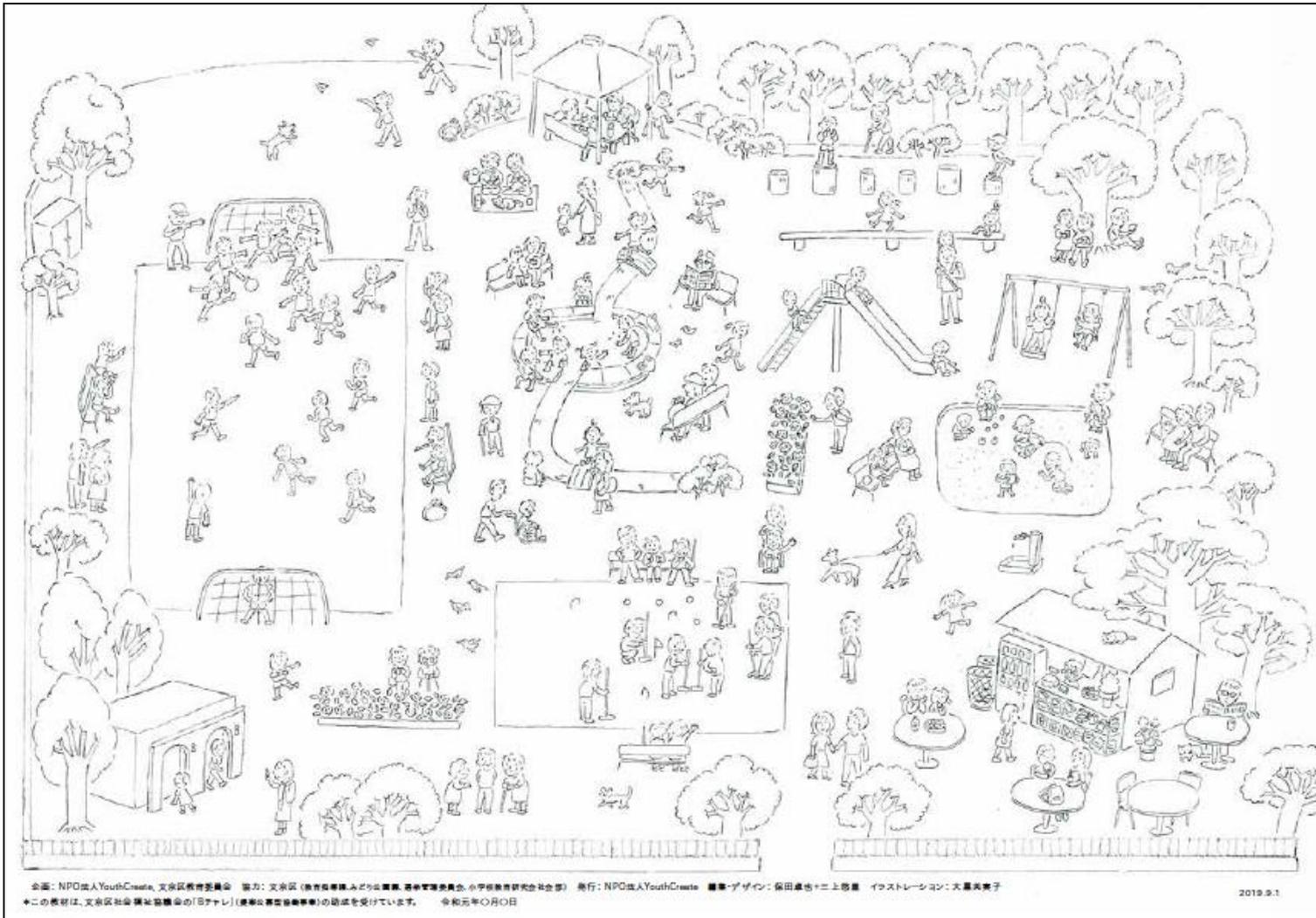
区のホームページでは「区民の声」コーナーを設置しています。ホームページから意見や質問、要望などを投稿することができます。寄せられた声は区長に報告され、担当の部署がその声を検討します。

区民の声 ▶ [www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/koho/koe](http://www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/koho/koe)



11p

児童を含むすべての住民が、声を届けることができる(働きかけられる)ということを知ってもらうために、区の取り組みを記載しています。しかし、HPにアクセスして何かを伝えることを目的にしないでください。最終的なゴールは児童が社会について、自分の地域について考えるということだと考えています。



## 裏表紙

グループワークでテーマとした公園を描いています。グループワークの際に、想像力を膨らませるのにも活用いただけます。

連絡先

文京区社会福祉協議会  
地域連携ステーション フミコム

Tel: 03-3812-3044

E-mail: [fumikommu@bunsyakyo.or.jp](mailto:fumikommu@bunsyakyo.or.jp)